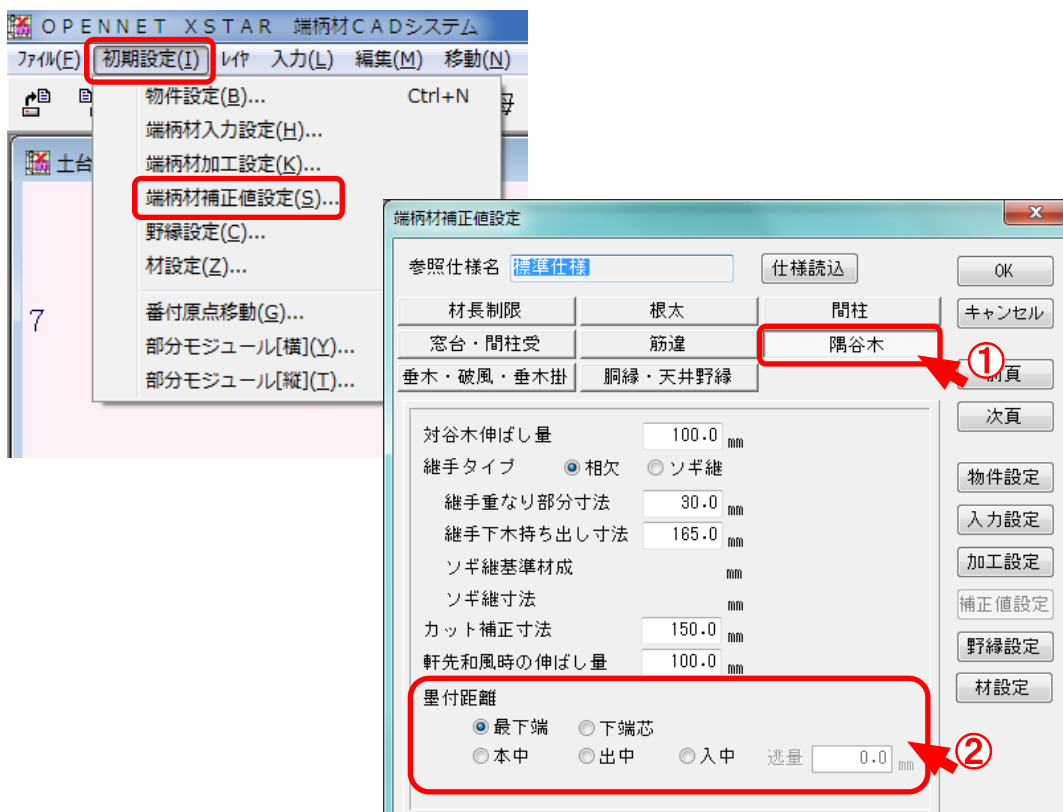


隅谷木 墨付位置設定方法

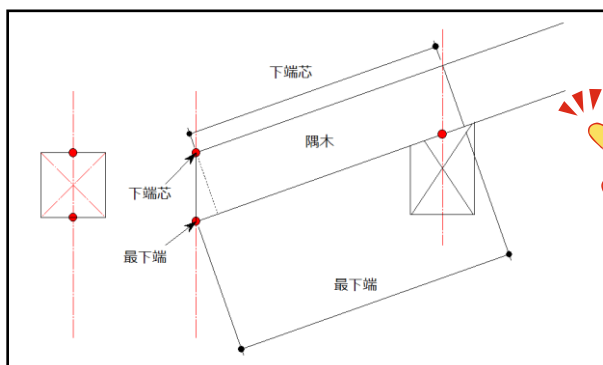


端柄材補正值設定では、端柄材の加工に関する補正值の設定を行います。

- ① [初期設定] - [端柄材補正值設定：隅谷木]をクリックします。
- ② 墨付距離を設定します。

【墨付距離】

■ 最下端 / 下端芯



墨付位置：

軒の先端から桁までの距離を指します。

最下端：

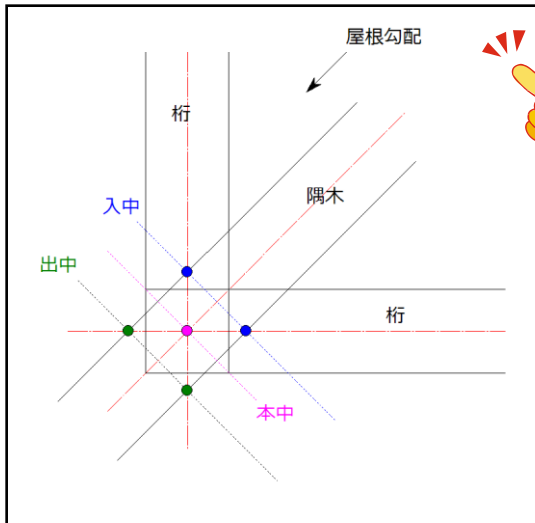
下端から桁のグリッド芯までのもっとも長い距離を指します。

下端芯：

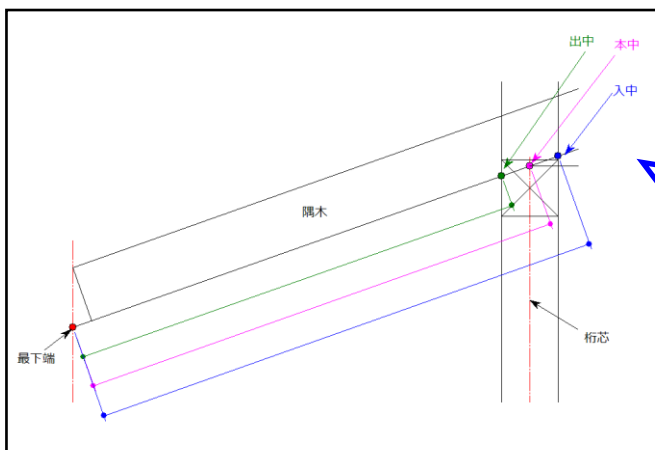
材上端から桁のグリッド芯までを指します。

隅谷木 墨付位置設定方法

■ 本中 / 出中 / 入中



- 本中：**
隅木の芯と桁の芯が交差した位置。
- 入中：**
隅木の両側が桁の芯と交差した位置。
- 出中：**
軒先側で隅木の両側が桁の芯と交差した位置。



- ※ 軒先側の基準は「最下端」と同じ基準となります。
- ※ 本中に対し入中、出中は $\pm (\text{隅木巾} \times \sqrt{1 + \text{隅木勾配}^2})$ となります。

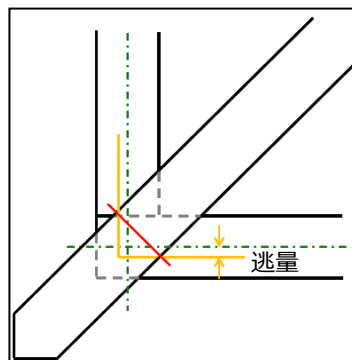
【逃量】

「入中」に設定した場合のみ、桁芯からの逃げ量を指定することができます。



チェックを ON にすると、谷木の場合のみ「出中」からの逃げ量：36mm の位置で墨付位置をとります。

逃量を設定した場合の墨付位置



谷木のみ入中/出中を反転にした場合

